NO. 211　　2025年 3月号

たきとしょかん こどもだより

ほこっとだより

たきとしょかん(TEL 0598-38-1133)

おすすめコーナー

つくる

『木工少女』

澤野 久美 著　講談社

東京からひっこしてきた村で、美奈は工房の主であるデンさんと出会う。

田舎の暮らしに不満ばかりだった美奈は、工房で木を使ったものづくりをすることに。

(913.6)

『アマミホシゾラフグ』

海底にナゾのサークルをはっけん！

だれが、なんのために、どうやって作ったのか？

かんさつしてみると…

(469.7)

『スパゲッティ大さくせん』(913)

キッズシェフコンテストのために、パスタをつくるれんしゅうをするけど、しっぱいばかり。そんなぼくのまえにパスタの森があらわれた！

3月の予定　色がついているところは、図書館はお休みです。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 としょかん おはなし会
8	9	10	11	12	13	14 おはなし ぜんたい
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 おはなし ぜんたい
29	30	31	としょかん おはなし会 おはなし ぜんたい			は10:30～です

『つくって役立つ！防災工作 水・電気・ガスが使えないくらしを考える』

水や電気、ガスがないときに役立つ工作たち！

身近なもので、コンロやトイレしかけをつくろう！

もしものときの災害にそなえよう。

(369.3)

今月のおすすめ

『学校にひそむきみんもんつき』

とみなが まい 作　大塚 ゆうじ 絵

福音館書店　(913.8)

小学校にひそんでいる「きみんもんつき」って知っている？

「けしゴムこぞう」は、けしゴムにつくきみんもんつき。他にはね…。

『まわるおすしやさん』

藤重 ヒカル 作

福音館書店　(E)

おまつりではやりの「まわるおすしやさん」をひらくことにしたサルたち。

でも、それがどんなものか分からなくていっしょうけんめい考えるけど…。

『見るのが楽しくなる 目のひみつ』

今泉忠明 監修　さいとうあずみ 絵

創元社　(491.1)

人間の目って、実はすごい！

でも、他の動物には見えているのに、人間には見えていないものもある。目についてのぞんでみよう。

『やさしさバトン』

新井 ひろに 作　あべ 弘 絵

金の星社　(913.7)

小学4年生の有咲は、なるべく傷をしたくない。

でも、購買体験を通じて自分の不自由な姿の人とであい、その考えが変わっていく。

やさしさがめぐりめぐっていくバトンのお話。

『フェンシング部の王子さま』

岩川 愛子 作

さんらく書店　(913.6)

中学校では、フェンシング部に入ろうと思っていた歩鞍。でも、あまりにも先輩たちのクセが強すぎて…。

友だちと同じ部活？自分の興味のある部活？どちらに入るか歩鞍が出した答えとは…？

『手から手へ、皮から革へ。牛革のランドセルができるまで』

上吉川 紘一 写真・文

文一総合出版　(584.7)

ランドセルは牛の革から作られているものもある。完成するまでには、たくさんの人たちが関わっているんだよ。

どうやってできているかみてみよう。

いつものランドセルが特別に思えてくるかも…！

勢和図書館こどもだより　　NO. 165 (2026年3月号)

勢和図書館 Tel. 0598-49-4500

かぜ ～風にのって～

Jr.（ジュニア）

―備えよう―

毎日のくらしの中でできること

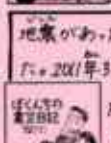
「いのちをまもる行動を！」と聞くことはあるけど、それは一体どんな行動？身のまわりにひそむキケンにあった時 どうすればいいのか、がわかる図鑑。

『いのちをまもる図鑑』

後藤みわこ/文　池上彰巳/監修

ダイヤモンド社　(369.7)

地震があった日から友樹の生活はガラリと変わった。2011年3月11日からの4日間、杜野家ががんばった記録。災害時に役立つ情報がわかります。



『ぼくんちの震災日記』

佐々木ひとみ/作　平野 ハル子/絵

新日本出版社　(913.7)

『消えた学び舎 変わりゆくまち』

豊田直巳/写真 文

農山漁村文化協会　(369.1)

原発災害で学校が閉じられ、変わりはてた暮らしの場、福島県浪江町。それでも、町出身の人々のパワーにはふるさとは残りつづけます。

色がついているところは図書館お休み！

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	0才 4 おはなし会 10:30～	5	6	7
8 和のほんとカフェ	9	10	11	12	13	14 おはなし会 10:30～
15	16	17	1～3才 18 おはなし会 10:30～	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28 おはなし会 10:30～
29	30 祝月 整理日	31	3月			

春。春のひかり
ひらひら ひなまつり

3/28(土) ～ 3/29(日)

企画展示室にて

今年もすてきな つるしびな を展示しますね

和のほんとカフェ

3/8(日) ごご1じ～4じ

コラボ：「いもはる」さん

「飯高工房 夏朝郎」さん

抹茶：服部善子(いちは窯)さん

今月のおすすめ

『はなの街オペラ』

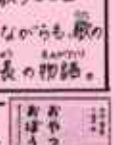
森川成美/作　坂本こえと/画

井上佳裕/監修 解説

くもん出版　(913.6)

田舎から東京へ奉公にやって来た少女はなの特技は、一度聞いた歌をすぐに歌えること。厳しい生活の中でも歌うことをやめず、出会いと別れを経験しながらも、歌の世界へ引きこまれていくはなの成長の物語。

『おやつのおばあさん お手伝いで「こどもたちを笑顔に」』



井出留美/作　坂内拓/絵

くもん出版　(369.4)

お寺にとどく お供えものの おさがりをおすそわけして、食べものに困っている家庭をたすけ、食品ロスも防ぐしくみをつくったおばあさんがいます。お寺の「ある」と社会の「ない」をつなぐ おてらおやつクラブは一体どのように誕生したのでしょうか。

『つっきーとカーコのたからもの』

おくはら ゆめ/作・絵

偕成社出版社　(913.7)

ねこの つっきー と カラスのカーコは、小さいころから なかよし。たからものがたくさんあるカーコをみて、つっきーはみんなのたからものの はなしを ききにいくことに。そこで つっきーが みつけた たからものとは。

『かかしのトーマス』

オトフリート・プロイスラー/作

ハルベルト・ホルツング/絵

吉田孝夫/訳　さ・え・ら書房 (949.3)

キャベツ畑に誕生した かかしのトーマスには、毎日楽しいことがたくさん！秋になり、キャベツが収穫されると トーマスは …… 。

『なぞなぞ』(E)

安野光雅/さいえ 福音館書店

みんなが しっている

むかしばなし に まつわる

なぞなぞを たくさん といてみよう！

みんなは なんもん せいかいできるかな？

『子ブタたちはどう生きたのか』

ぶんぶんうの農園の7月

太田匡彦/著　岩崎書店 (645.7)

豚肉になるブタにも、人生なぶぬ豚生があります。完全放牧養豚をする農園で生まれ育つ子ブタの7月の豚生とは。

アニマルウェルフェアを考える一冊です。

『ぶん ぶん ぶるるん』

バイロン・バートン/さく　たしまゆうすけ/やく

はるぶす出版　(E7)

ぶーん ぶん と やってきた みつばちが ちょっと おうしを さしました。おうしが びっくりして はねまわっていると …… 。

今月のおすすめ